



## 福王寺だより

今年は十月に入っても暖かく、過ごしやすい季節となりました。しかしながら紅葉も少しずつ進み季節の変わり目を感じるところです。

一つ一つ味わいながら年を過ごしていけたらありがたいですね。

### 宗教は夜のようなもの

先月はイベント盛りだくさん、落語で月亭方正さんが、バイオリンで肝付黎さんがお寺にてその芸を披露してくださいました。お寺の空間に笑いや音楽が響く様子はとても心地よい時間となりました。

「お寺は葬儀や法事をするところ」、「檀家以外は入ってはいけないところ」、色々

なイメージがあると思うのですが、祈りはもちろん皆さんそれぞれが心を休ませ、回復する場所でもあってほしいと願います。

そんなことを花園大学の学長もつめた山田無文老師は次のように説かれていいます。「無用の長物」と題するコラム記事であります。

人生に夜のあることはうれしいことである。どんなに仕事の好きな人も、夜は仕事を忘れて眠る。どんなに金もうけの好きな人も夜はその貪欲をわすれて眠る。どんなに学問の好きな人も、夜は本を書棚におさめて眠る。生命をかけた戦場の勇士も、夜は銃をまくらにしてしばしまどろむであろう。

宗教の世界も、夜のようなものではないだろうか。弥陀の本願には老少善悪の人をえらばれず、善き者にも悪しき者にも、神は同じく雨を降らせたもう。世の成功者も、

ここではその誇りを忘れて平凡な人の子となり、世の敗残者も、ここではその失意を忘れて、神のふところにいだからる。

**宗教の世界とは、夜のごとく争いと裁きの憂いのないやすらぎの世界である。**

「宿題、宿題」で先生には鞭うたれる。「勉強、勉強」で家庭では尻をたたかれる。友達は見向きもしてくれない。今ごろの高校生には心の安まる夜がないようだ。そこで一朝つまづくと、とりかえしのつかんことにもなるう。

大事な人生に、夜が半分もあるのは、無駄のようである。忙しい今の世の中に、静かにすわる宗教などは無用の長物とも思われよう。しかしその無駄が決して無駄では



ないことを忘れてはなるまい。というのであります。

効率第一で一番に仕事やお金、人生の意義など色々問われる時代ですが、笑ったり、感動したり、そして祈ったり、ほっと一息つける夜のような場所を皆さんで作ってきたいですね。

合掌

## 行事のご案内

十一月二日 午前九時

### 第三回下座行

第三回目の下座行です。先祖様に供養すると同時に心を磨きましょう。境内が綺麗になっていく様は、気持ち良いですよ。お掃除です。お手伝いが高齢になってきています。お気軽に参加してほしいです。

十一月十七日

### 午前十時 報讃会

今年最後の大法会です。網走の管内のご寺院様、布教師様をお招きし、理趣三昧という密教の最高の法要を執行し、一年の感謝を込めて祈りを捧げます。

是非お参りに来てください！

## 行事報告

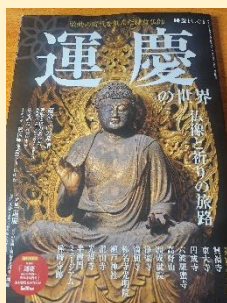
皆様のお陰で今年も無事に「秋のお彼岸」お参りできました。また今年のご縁で落語を聞いたり、音楽を聞いたりとてもお寺にとっても良い時間となりました。



美味しいお弁当  
ありがとうございます



月亭方正さん独演会  
終始笑いで溢れていました



仏像の現在の様子、作成中の仏像が雑誌に掲載されています。

周年の仏像の粗彫りが進んでいるようです。雑誌に掲載されるなど、仏師さんも力を入れております。楽しみです。